

治療薬について

治療薬の種類

主に鎮痛目的。
出来れば減量を。

1. 痛み止め(NSAIDs): ロキソニン, インフリー, モービック, セレコックスなど
2. 副腎皮質ステロイド: プレドニンなど
3. 抗リウマチ薬: リウマトレックス(メトレート), アザルフィジン, リマチル, プログラフなど
4. 生物学的製剤: レミケード, エンブレル, アクテムラ, ヒュミラ, オレンシア

骨を守る。
大事！！



1. 痛み止め
2. 副腎皮質ステロイド には, 速効性があります.
3. 抗リウマチ薬は, 効果がでるまでに, 1ヵ月以上かかる
ことが多いので, 治療開始時には, 併用することが一般的です.

上記の治療で, コントロールが不十分の時には,
4. 生物学的製剤を検討します.

生物学的製剤の注意点

関節リウマチの病態

リウマチの方では免疫の異常が起こっています。
異物（自分以外のもの：細菌やウイルス、癌細胞など）を
攻撃するはずの免疫システム、血液成分が、
自分の組織、
特に軟骨や骨などを攻撃してしまう状態です。
攻撃により、関節の腫れ、痛み→破壊→変形を来します。



伊藤吉賢ほか、日本臨牀、2005;63(Suppl 1):96-99、一部改変

リウマチの治療薬はいくらか免疫をブロックすることになるため、バイ菌の攻撃に注意する必要があります。
体の中で肺炎などがくすぶっていると、それが再燃することが考えられるので、注意は必要です。

生物学的製剤を使用する前には、ガイドラインで検査の取り決めがあります。

肺炎	} などの	チェックのため →→→	胸部レントゲン
結核			血液検査
B・C型肝炎			などを検査します。

癌の治療中の方、高度の心不全の方は使用できません。